

ニュージーランド T

<AI注目馬>

8, 9, 16

<最終見解>

短距離指向の血。なかでもPサンデー系、ダンチヒ系の血が好相性。

昨年も勝ち馬のジャングロはPサンデー系と同タイプのモアザンレディ。
2着マテンロウオリオンもPサンデー系。3着リュウベックはダンチヒ系。
一昨年 13 人気で 3 着のシティレインボーも母父Pサンデー系。

本命はロードディフィート。

ダンチヒ系。芝短距離適性高いデクラレーションオブウォー産駒。

日本でも既に芝短距離のオープンを複数の馬が勝利。
初年度産駒となる今年の 3 歳世代は重賞で大穴続出。
先日もファルコン S でタマモブラックタイが 8 人気で 1 着。
ホープフル S ではトップナイフが 7 人気で 2 着。

デクラレーションオブウォー産駒が穴を出すのは、
種牡馬としてのポテンシャルが高いことはもちろん、
キャリアを重ねて上昇するから。

キャリアが浅くて凡走していた頃のイメージが人気を下げています。

ロードディフィートは母父も当レースに強いPサンデー系のダイワメジャー。

キャリアを重ねている上に、前走から間隔を詰めたローテーションも歓迎の血統。

阪神牝馬 S

<AI注目馬>

1, 3, 9, 10

<最終見解>

本命はママコチャ。

同コース G1 も勝っているソダシと同配合の妹。
芝短距離実績あるのも当レースでは有利。